

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英会話II English Conversation II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
英会話 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
David Bradley	なし	なし	授業中に指示します	
授業の概要				
この授業は会話の授業なので、なるべく全部の時間を英語を話したり、聞いたりして、英語力を向上させるために使う。				
授業の目標				
この授業の目標は、 ①前期に習った色々なことに積み重ねて、ヒアリングとスピーキングの力を上げることができるようにする。 ②英文法も復習して、理解しやすい文書で話ができるようにする。				
授業の方法				
教科書を使わない、プリントを配る。ヒアリングとスピーキングを中心に授業を進める。スピーキングの時、先生と話す場合はもちろん、学生同士でも英語で話すようにする。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を終了すると、あなたは ①身近な環境についての文章や表現の意味を取ることができる。 ②日常生活について具体的な情報交換することができる。 ③自分の生活を紹介することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course			
第2回目	Consolidation activities: speaking			
第3回目	Consolidation activities: listening			
第4回目	Talking about people: physical descriptions			
第5回目	Talking about people: personality and character			
第6回目	Holidays in other countries			
第7回目	Holidays in Japan			
第8回目	Talking about the past: famous people			
第9回目	Talking about the past: changes in lifestyles			
第10回目	Experiences from childhood			
第11回目	Recent experiences			
第12回目	Asking for and giving directions			

第13回目	Comparison: travel	
第14回目	Comparison: history of tea	
第15回目	Talking about the future: society	
第16回目	Talking about the future: personal goals	
第17回目	Conditionals (type 1)	
第18回目	Conditionals (type 2)	
第19回目	Conditionals (type 3)	
第20回目	Cultural topics: festivals	
第21回目	Cultural topics: music	
第22回目	Cultural topics: Christmas	
第23回目	Cultural topics: New Year	
第24回目	Giving opinions	
第25回目	Making suggestions and plans	
第26回目	Review	
第27回目	Review	
第28回目	Individual Interviews	
第29回目	Pair Interviews	
第30回目	Feedback	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	60%	毎回出席することはもちろん、積極的な参加が重要である。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	40%	試験はスピーキングとヒアリングを中心に行う。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書を使用しない。プリントを配る。		
履修上の留意点・ルール		
毎回出席することが重要です。又、これは実技の授業なので、積極的な参加が求められる。尚、これは評価の対象にもなる。		